

JAレーク伊吹は、“農家所得の増大”と“農業生産の拡大”“営農経済部門の体型強化”を自己改革目標としています。今月号では、その具体的な取組み内容をダイジェストでご紹介します。

① 農家組合員の所得増大

事前契約買取販売方式へ

実需者が求める需要を早期に確保するため、米の契約の時期を出荷申出(2月)、播種前契約(4月)へと変更し、播種前契約ではJAに確実に出荷できる数量を確定させて頂き、安定的に有利販売ができるよう取組みました。



早期に確保する事で有利販売が可能!

複数年契約への取組み

主に業務用米として需要のあるキヌヒカリ、日本晴の増産ニーズに応えるため、販売先との複数年契約による保証価格での買い上げにより安心して生産ができ、安定的な農家所得が確保できる取組みを行いました。

取組み品種

- ・きらめきキヌヒカリ
- ・あっぱれ日本晴

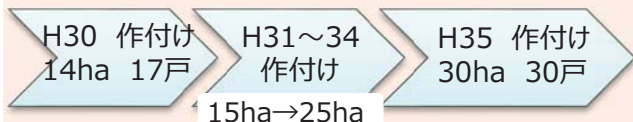


3年間の保証価格があり安心

※31年産からの取組みは2年間です。詳しくは訪問担当まで

タマネギ生産への拡大

加工・業務用タマネギの機械化一貫体系による、生産性向上と労力軽減に向けた栽培技術の確立と、レンタル農機を用いた効率的な機械利用を確立し、生産拡大をはかります。



H35には、30haを目指しております。高収益作物の1つとして今後要注目!

低コスト資材の提案

肥料の「銘柄集約による新たな共同購入」により、生産資材費の引下げの取組みを行いました。

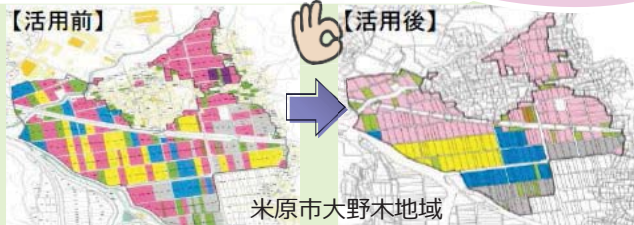


肥料費が10a当たり2,679円に!

② 農業生産の拡大

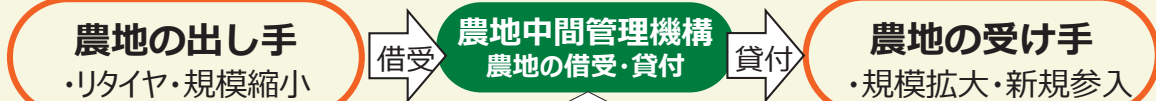
行政との連携による「人・農地プラン」の作成と担い手の明確化

持続的な地域農業と、集落機能の発展を図る事が求められており、集落・地域において徹底的な話し合いによる「人・農地プラン」の策定を行政と一体となり推進しております。



集落話し合いによる
長期的な農地管理

担い手への農地利用集積



JA・市町・農業委員会とも連携・協力し、サポートを行っています。

③ 営農経済部門の体制強化

営農事業活性化チャレンジプラン 成果発表大会開催



営農事業活性化チャレンジプランとは、毎年、営農担当職員がテーマや課題を明確化し、その課題に取り組んだ成果を発表し合い、営農指導事業・職員の資質向上と情報・課題を共有化することで、営農指導の活性化を図っています。

発表方法：1人15分以内で発表資料は、パワーポイントで行う。

審査基準：成果発表大会審査基準に基づき、上位3名に表彰。

審査員：JAレーク伊吹会長・理事長・専務・総務、金融、経済理事部長・常勤監事・湖北農業農村振興事務所・全農しが

取組課題紹介

優秀

入江干拓善積地区経営体事業に向けた高収益作物の検討

JAの推進品目である加工業務用タマネギの栽培技術や機械一貫体系への省力化の検証を交えながら、今後の普及に向けてのPRを行った。

近江・米原地域 営農経済渉外

飼料用米吟おうみの試験栽培を通じた農家所得増大への試み

現在の飼料用米の荷受け品種である日本晴と多収性品種である吟おうみとの栽培、比較試験を行い、有効なのか？また、栽培上の不安要素や今後の課題について検討した。

長浜地域 TAC

最優秀

みょうがの産地として復活するために

伊吹の伝統農産物であるみょうがについて、現状を調査・分析し、産地として復活するための手段を考案した。

特産振興課

生産振興野菜の将来品目としての里芋栽培検証

里芋栽培を実践し、生産性と収益性を調査し将来の野菜振興の品目への可能性についての検証を行った。

伊吹・山東・柏原地域 営農経済渉外

優秀

SNSツールを利用した営農相談機能の充実

訪問先農家のニーズに応え、LINEを使用した営農相談を行い、満足度や汎用性があるのか、どういった場合に有効利用できるのか検証を行った。

長浜北・北郷里地域 営農経済渉外

花卉生産者の経営実態把握と分析

花卉生産について、実際の経営状況等の情報が非常に少ない現状である為、花卉生産者の経営実態を調査し見える化を行い、今後、推進を行う材料とした。

長浜南・南郷里地域 営農経済渉外

上記内容は、今年の実行課題の一部になります。今後もさらなる営農経済部門の体制強化を図って参ります。